

令和3年度 京都市立修学院小学校 学校経営方針

《学校教育目標》

正しく 楽しく たくましく

～自ら学ぶ力と自ら律する力を高める教育の推進～

《豊かな心》…**正しく**

- 自分自身の考えを、根拠を元に主張しつつ対話や議論を通じて、多様な考えを持つ人々を尊重しつつ、協働していくことができる。
- 「命」を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など、豊かな人間性を育む。
- 自尊感情の高揚を図るとともに、共感的に他者を受け入れる姿勢を築くことで、望ましい人間関係を紡ぎ、学校全体に人権尊重の基盤を構築する。

「正しく」とどう使うか

《健やかな体》…**たくましく**

- あらゆる教育活動において、一生懸命ががんばることができるとともに、「自らの身は自らが守る」という主体的に安全に行動する。
- よりよい生活の実現に向け、自らの行動で課題を解決したり、社会貢献したりするなど、社会の形成者としての自覚を促し、規範意識を育む。
- 健康な生活習慣確立に向け、自己の日常生活を振り返り、健康の保持増進に努める。

《確かな学力》…**楽しく**

- 学ぶことに興味を持ち、見通しを持って粘り強く取り組むとともに自らの学習をまとめ、振り返り、次の学習に繋げることができる。
- 自ら考えたことを他者と意見交換したり、論議したりすることで、より妥当なものにすることができる。

- 教科横断的に培うべき資質・能力を踏まえ、習得⇒活用⇒探究という学びの過程で、「各教科等の特質に応じた見方・考え方」を採り入れながら、精査した情報を基に自らの考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったりしながら集団としての考えを形成することができる。

安心で安全な学校づくりの推進 [主体的に安全な行動をとる子ども]

人権としての教育

(学力向上の徹底)

- ・学習への自立

●一人一人の学びを保障し、学力向上を促す、主体的・対話的で深い学びに繋がる授業づくり。

(学ぶ機会)

人権を通しての教育

(人権を尊重した学級経営)

- ・人に優しい人間関係づくり

●教室の中で、自分自身が思う存分、能力を発揮できたり、そのがんばりを互いに認め合ったりでき、賞賛の言葉が飛び交う学級づくり。

(学ぶ環境)

人権についての教育

(人権確立への行動化)

- ・ポジティブな考え

●課題解決に向け、「自分には何ができるか？」を問うことができる環境づくり。

(学ぶ内容)

人権のための教育

(人権を守る意識)

- ・人権文化の構築

●学校教育全体の活動を通して、社会にも通用する人権感覚を育み、誰もが安心できる学校づくり。

(学ぶ目的)

〔かけがえのない自分〕

- ・周囲から認められる。
- ・頼りにされる自分。
- ・自信が持てること。

～自尊感情の高揚～

〔自らの能力を精一杯出すことができる仲間づくり〕

～人間関係能力～

夢や希望に満ちた将来を実現するために

- ・人と共に社会に生きる力
- ・自分を知り律する力
- ・課題を見つけ解決する力
- ・夢や希望をつくりあげる力
- ・社会に貢献する力

〔共感する心の育成〕

- ・多面的に観察する。
- ・友だちのよい所を見つけることができる。

～共感的他者理解～

学校教育目標達成に向けて

